

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： 記憶 NK 細胞の人為的分化誘導法の開発とその応用
2. 研究代表者： 鍋倉 宰（愛知県がんセンター 研究所 腫瘍免疫応答研究分野 分野長）

3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本課題は、記憶ナチュラルキラー（NK）細胞の人為的分化誘導法を確立し、新規 NK 細胞がん免疫療法や NK 細胞の抗がん活性を賦活化する分子標的療法の開発を目的としている。

フェーズ 1 では、記憶 NK 細胞を独自に定義し、その分化や維持を制御する Themis2 を同定した。また、Themis2 が NK 細胞の活性化の重要分子であることを発見した。得られた結果を論文発表するなど、精力的に取り組んだ。

フェーズ 2 では、記憶 NK 細胞賦活剤の開発と Themis2 の阻害による CAR-記憶 NK 細胞の作製・機能解析等を計画している。Themis2 の阻害による NK 細胞の賦活化により癌免疫応答を増強できれば画期的である。新しい分野を切り開いており、今後の展開を期待する。

以上